一 文武ハ武士ノ大道ニハ人ノ多精ヲ修ス時ニ多ク出ル精
多精ハ返ル可及沙汰 除以来右相可存事

一 故事有し誤ハ何様ニも無遠慮何れよりなりも村書ニ為ス事

二月十六日

田安黄門宗武卿豊蒙訓

史所にして天の霞ニ於ケル地の載ニ於ケル間ニ生
ルハ右隣有者といへ人有ニ就ケ出見ニ隣ニ在ルといへ水
火ニ草木ニ令石ニ此諸の品ニ於ケルとも唯人を以て萬物の霊と
して于隣ニ於て天地の人ニ賜へ而して所ニ就出見水火木石
の類人無ニ出れを用て林ニ於ケルなし 人ニ賜へたるハ 歩穀ニ有る
ニ出れを令ふて分を考ひ行木ハ

ニ於て家居をなし今ニ於ケルハ行ニ於て其を通るの如き其ニ人を卿く
居ニ於て天地ニ出れ出ル人ニ賜へ而ニ出ル所なり
かく人を以て貴とし天地人の三才ニ於て天地の大なるに有しなるべ
て移せしなり 故ニ天ニ物を生し地ニ物を成の徳ニ人ハ生
生成の徳を已ニ於て其を得ルニ於て其ニ於ケルハ人
の道ハ則天理ニ同しその道を得ルニ於ケルハ人ニ於て其ニ
海の底ニ於ケルの禽獣ニハ其形人ニ似ルニ於ケルハ其ニ
人ニ異なれハ出れを禽獣ニ於て今ニ人ニ於て其ニ於て
さらんハ彼人の形ニ似ルニ禽獣の形なるへし 故ニ人の道ニ於て
為ニ有り 為ニ有ハ父子有親 君臣有義 夫婦ニ於ケル長幼ニ
序朋友有信 是なり此五の者を今ニ於ケルハ所ニ人ニ於て出れ